

# 海辺のビンゴゲーム

ビーチコーミング(漂着物拾い)で見つけたものを使ってビンゴを行います。

## <海辺のビンゴゲームのポイント>

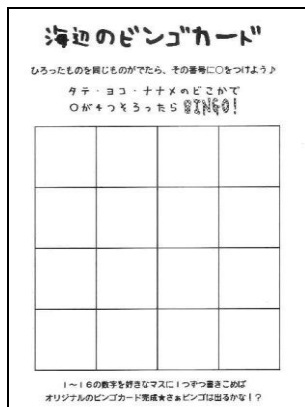
- ★ ビンゴゲームのために「色々なものを見つける」という意気込みで砂浜に行くと、不思議なくらい色々なものに目が行き、発見が増える
- ★ 見つけたものを、皆の前で発表する機会があり、拾っただけではない満足感がある
- ★ 友達の見つけたものも見るできるので、さらに発見が増える
- ★ それぞれの漂着物について、みんなで「どこから来たんだろう?」「なんでこんな形になったのかな?」と色々想像してみることで、発見を深める機会を持つことができる
- ★ ビンゴゲームという遊びを通して、様々な発見をし、生き物の不思議や環境について楽しく学ぶことができる

## ● 準備物

ビニール袋(拾ったものを入れる)、筆記用具、飲み物、帽子、タオル、動きやすい服装

## ● 貸し出しセットの内容

- ・ビンゴカード…グループ分の枚数
- ・ナンバリングボール(1~16)…1セット



- ・漂着物ボックス…2セット(他団体と重なっている場合は1セット)



## <進め方>

### ①「拾ったものを使ってビンゴゲームをやるから、とにかくたくさんものを拾っておいで」と伝え、個人もしくはグループ単位でビーチコーミング開始！

- \* ビンゴゲームはグループ対抗であることを伝えます。
- \* 安全管理のために、ビーチコーミングのエリアを設定します。(指導者の目が届く範囲で)
- \* 制限時間を設け、伝えてからスタートするとゲーム的な要素が強まります。
- \* 生き物は、長時間捕獲すると死んでしまうものもあります。ビンゴにも生き物は出てこないで発見した生き物は捕まえずに観察しましょう。もしも捕まえたグループがあれば、②で移動をする前に皆に見せて、住处へ帰してあげるように促してください。
- \* 何かわからない液体の入ったペットボトルや注射器、不発弾等が漂着することがあります。よくわからない物には触らないよう、注意事項として伝えてください。

### ② 時間になったら、ビンゴゲームの行いやすい場所へ移動

(砂浜は日陰がないため暑い時は要注意。南芝生・海岸園地が近く木陰もあるため使いやすい。)

### ③ グループに1枚ずつビンゴカードを配ったら、1～16の数字を好きなマスに書き込む

### ④ グループごとに仲間が拾った漂着物を集結させて、グループ対抗ビンゴゲーム大会開始！

### ⑤ 指導者は、青いバッグからボールを1つ取り出して番号を確認(例・・・1番)



### ⑥ 漂着物ボックスの(1番)に入っているものを取り出す→1番はタカラガイ



### ⑦「タカラガイ」を拾っていたグループは、ビンゴカードの「1番」をチェック

- \* この時、それぞれの漂着物の簡単な説明書きがボックスの中に入っているので、「実はタカラガイは・・・」という話で、子どもたちの興味を深めるきっかけ作りにご活用ください！

### ⑧ ④～⑥を繰り返す

- \* ビンゴが出たグループをどうするかという部分は、皆さんで企画をお願いします！
- \* 終了後、ビンゴに出てこなかったものを拾ったグループがあれば、発表してもらおうとおもしろいです(そんなものもあったの！？というのがけっこう出てきます)
- \* 拾ったものはお土産として持ち帰って大丈夫です。※生き物はいないことが前提です！ただし、生モノは臭ったり腐ったりということがあるので、お土産にはされない方が…。また、貝殻等も、家に帰ったらよ～く洗って乾燥させてください。